

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	豊橋市	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。				
提案プロジェクト名	環境実践・活力創造プロジェクト	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。				
対象地域	都道府県名	愛知県	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。			
	市町村名	豊橋市	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。			
① 関連する分野	環境（低炭素、循環） 超高齢化（安心安全） その他（雇用・所得、子育て）		※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。			
② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p><2020年の姿> 環境実践・活力創造都市 本市では、本年4月に2020年を目標年次とする「第5次豊橋市総合計画」を施行し(平成22年12月「基本構想」議決)、まちづくりの各分野において将来展望に基づく政策を総合的かつ計画的に推進している。 環境分野では、平成22年3月に策定した「地球温暖化対策地域推進計画」の中で、2020年の温室効果ガス排出量25%削減(1990年比)を目標に掲げ、市民や事業者とともに「ストップ・ザ・温暖化プラン」の取組みを展開している。都市計画においては、本年3月に策定した新しい「都市計画マスタープラン」の中で、超高齢化社会の到来を踏まえた都市の目標像のひとつに「歩いて暮らせるまち」を掲げ、長期的な観点から都市機能の集約・再配置を促すなかで、誰もが自由に移動できる交通体系の確立を目指すとしている。産業分野では、今後10年の本市産業振興の方向性を示す「産業戦略プラン」(平成23年3月策定)において、農工商のバランスの良い産業構造の維持発展を図るとともに、全国有数の産出額を誇る農業の潜在力を生かした農工商連携や国内外へのPRを積極的に取り組むこととしている。これら各分野の政策は、「第5次豊橋市総合計画」で本市が目指すまちの姿として掲げた「輝き支えあう水と緑のまち・豊橋」の実現に向けてのものであり、住民、地域産業、大学などと一体となって戦略的に推進していかねばならない。 本アイデア提案では、こうした認識の下、各種政策の中から、環境、社会、経済それぞれの価値のトリプルボトムライン向上に特に寄与するものを抽出・関連づけし、総合的な目標を「環境実践・活力創造都市」とした。</p>						
③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方)		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p>環境価値の向上に向けては、エネルギーの地産地消の観点から、太陽光発電の普及を一層推進するとともに、廃食用油製BDFの利用促進など再生可能エネルギーの利用拡大を図る。併せて、電気自動車・電動バイクの普及促進や公共施設の照明のLED化などエネルギー消費の合理化を進める。また、広域的な森林・水環境保全の観点から、豊川の水で繋がる東三河地域の木材を公共施設の整備等で積極的に活用していくほか、木質燃料としての利用を進める。この他、大学との連携による次世代ビークルの研究、下水道汚泥・尿等のエネルギー化の検討など長期的な観点からの取組みも進める。 社会価値の向上については、超高齢化社会における移動の自由の確保及び過度な自動車利用の抑制という観点から、公共交通の機能強化に重点を置く。具体的には、路線バスの利便性向上を促すとともに、市民の足として親しまれている路面電車の充実を図る。公共交通空白地では、「地域生活バス・タクシー」により地域住民と協働で公共交通の創出再生を図るほか、公共施設との連携によるサイクル&ライドの検討も進める。 経済価値の向上については、高い生産力を誇る農業と製造業及び流通業等との連携による新たな製品・サービスの創出などに取り組むことで、若者から高齢者までが元気に暮らせる地域づくりを進める。特に、新産業創出の観点から、産学官の連携による新しい技術の開発・実用化や施設園芸の環境対応、国内外への販路拡大などの戦略的な取組みに力を入れていく。</p>						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	再生可能エネルギー導入促進	太陽光発電の公共施設導入(累積1MkW)と住宅等への設置に対する助成(累積10MkW)の推進 廃食用油の再生利用拡大、バイオマス資源活用調査(下水道汚泥等の活用検討)	平成23年度～	豊橋市	環境価値、低炭素、循環	○
(2)	次世代ビークルの推進	電気自動車・電動バイク購入に対する助成、充電設備の設置に対する助成 大学連携調査研究への補助(電気バスに関する研究等)、総合動植物公園への導入検討	平成23年度～	豊橋市、豊橋技術科学大学	環境価値、低炭素	○
(3)	東三河材の利用促進	東三河産の木材を用いた児童福祉施設(高山学園)・児童クラブ(計3館)の建築 小中学校の木質化(木の机、イス等)など	平成23年度～	豊橋市	社会的価値、子育て 環境価値、循環	○
(4)	公共交通の充実	公共交通の活性化、路面電車電停の安全性向上、路線バスの利便性向上 地域生活バス・タクシーの拡大、サイクル&ライドの推進	平成23年度～	豊橋市、地域公共交通活性化推進協議会	社会的価値、安心安全 環境価値、低炭素	○
(5)	食農産業クラスターの推進	植物工場の技術開発及び普及促進 農工商連携商品等の開発及び市場化の推進	平成23年度～	豊橋市、食農産業クラスター推進協議会	経済的価値、雇用所得	○
(6)	農業発信力の強化	農産物のブランド化、国内外への販路拡大、新規就農の促進 施設園芸LED導入促進、施設園芸BDF導入促進	平成23年度～	豊橋市、JA豊橋	経済的価値、雇用所得 環境価値、低炭素	○
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
低炭素型で活力に満ちた、誰もが暮らしよいまちづくりを総合的に進めることができる。						